

地球温暖化対策実施状況報告書

2020年 6月 26日

（報告先）
横浜市長

住所 岐阜県大垣市田口町1番地

氏名 西濃運輸株式会社
取締役社長 小寺 康久

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	西濃運輸株式会社 取締役社長 小寺 康久				
事業者の主たる 事業所の所在地	岐阜県大垣市田口町1番地				
主たる事業の業種	大分類	H 運輸業、郵便業			
	中分類	44 道路貨物運送業			
該当する 事業者の要件	<input type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量		kl	自動車の台数	312 台

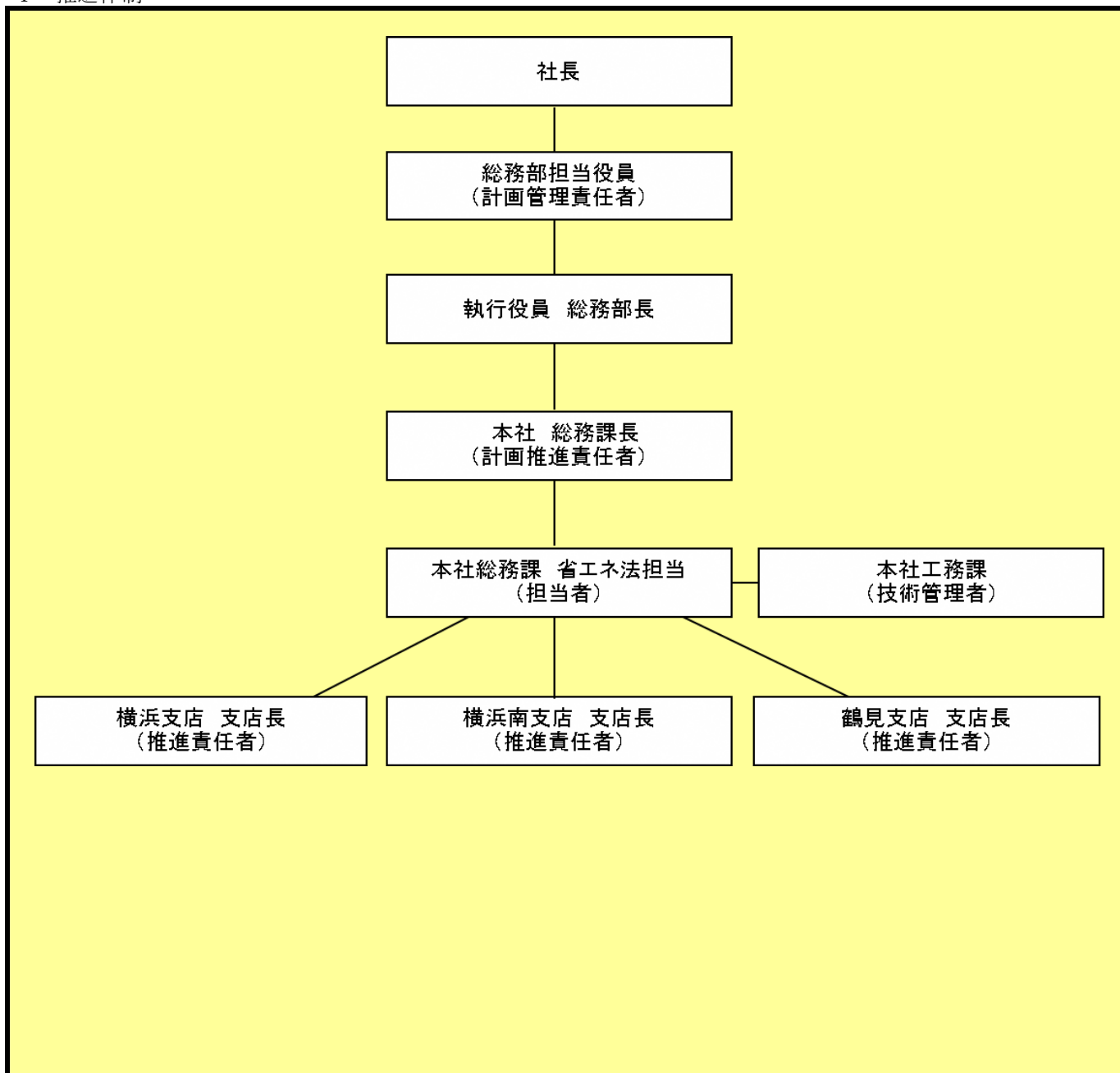
2 計画期間及び実施年度

計画期間	2017	年度～	2019	年度	実施年度	2019	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

- エネルギー使用（燃費改善）に関する目標
エネルギー使用に係る原単位（営業所に関する）については、年平均1%以上改善させる。
- エコ安全ドライブ運動の徹底に関する方針
 - 各支店ごとの燃費実績を毎月公表
 - エコ安全ドライブ優秀者を毎月社内壁新聞にて公開
 - アイドリング防止のため、カールコードキーを全乗務員が携行
- 車両に関する方針
 - ハイブリッド車の導入
 - 大型トラック全車両に、エコタイヤ、導風板を導入

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	西濃運輸株式会社 総務課
	所在地	岐阜県大垣市田口町1番地
	閲覧可能時間	平日午前8時～午後5時
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後		t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO ₂	削減率		%		削減率	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方									
事業者全体としての目標等									
第一年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第二年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
第三年度 （年度）	排出量		t-CO ₂	削減率		%	排出原単位		t-CO ₂ /
	調整後		t-CO ₂	削減率		%			削減率
目標等の達成状況及び説明									
計画期間全体の排出状況に関する説明									

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (2016年度)	基準排出量	2,748	t-CO ₂			基準原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,748	t-CO ₂			目標原単位		t-CO ₂ /	
目標年度 (2019年度)	目標排出量	2,666	t-CO ₂	削減率	3.0 %	削減率		%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	排出量削減のために、社内にて、エコ安全ドライブの推進を行ない、燃費を改善し、燃料使用量の削減に努める。 毎年、1%の削減を目標とし、3年間継続した場合の目標設定。								
事業者全体としての目標等									
第一年度 (2017年度)	排出量	2,953	t-CO ₂	削減率	▲ 7.5 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,953	t-CO ₂	削減率	▲ 7.5 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	基準年度と比較すると、車両台数が増加したために燃料使用量が増加し、排出量が増加しているが、社内の取り組みであるエコ安全ドライブによって燃費改善に取り組んだ結果、1台あたりの燃料使用量を減少させることができた。								
第二年度 (2018年度)	排出量	2,872	t-CO ₂	削減率	▲ 4.5 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,872	t-CO ₂	削減率	▲ 4.5 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	基準年度と比較すると、車両台数が増加したために燃料使用量が増加し、排出量が増加しているが、社内の取り組みであるエコ安全ドライブによって燃費改善に取り組んだ結果、1台あたりの燃料使用量を減少させることができたとともに、前年よりCO ₂ の排出量を削減することができた。								
第三年度 (2019年度)	排出量	2,785	t-CO ₂	削減率	▲ 1.4 %	排出原単位		t-CO ₂ /	
	調整後	2,785	t-CO ₂	削減率	▲ 1.4 %		削減率		%
目標等の達成状況及び説明	基準年度と比較すると、車両台数が増加したために燃料使用量が増加し、排出量が増加しているが、社内の取り組みであるエコ安全ドライブによって燃費改善に取り組んだ結果、1台あたりの燃料使用量を減少させることができたとともに、前年よりCO ₂ の排出量を削減することができた。								
計画期間全体の排出状況に関する説明	車両台数が基準年度よりも増加し、第三年度の排出量については基準排出量・目標排出量の数値を超えているものの、エコ安全ドライブの推進により、燃費・1台あたりの燃料使用量については三年間で改善されている。また、鉄道輸送やフェリー輸送などのモーダルシフトや、積載率の向上や大型車両の導入などの輸送の効率化により温室効果ガスの排出量が削減したと考える。								

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO ₂)
3,000k l 以上								
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計								

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)	台数(台)	排出量の 合計(t-CO ₂)
普通貨物自動車	254	2,707	279	2,899	276	2,812	298	2,753
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車	16	41	20	54	25	60	14	32
合計	270	2,748	299	2,953	301	2,872	312	2,785
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)	24.2	%	24.1	%	22.2	%	19.4	%

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	11	室内温度の適正管理	事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	12	地下駐車場の換気管理	事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	13	照明設備の高効率化	事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所		/	—	年度				—	年度				—	年度			
	15	機器性能管理	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	
	17	燃焼設備の空気比管理	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	
	18	排出ガス温度の管理	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備		(設備の種類) /	—	年度				(設備の種類)	—	年度				(設備の種類)	—	年度	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	実施済	—	299/299	年度			実施済	—	337/337	年度			実施済	—	312/312	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	実施済	—	299/299	年度			実施済	—	337/337	年度			実施済	—	312/312	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度			実施済	3/3	—	年度	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1					
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季クールビズの実施
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自動仕分機使用時間の見直し ・ホーム水銀灯点灯時間の見直し ・冷房28度、暖房20度の徹底
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各支店において洗車の節水を積極的に行っている ・廃棄物の段ボール・紙等の再利用を進めている
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各支店において洗車の節水を積極的に行っている ・廃棄物の段ボール・紙等の再利用を進めている
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各支店において洗車の節水を積極的に行っている ・廃棄物の段ボール・紙等の再利用を進めている

14 実施状況等に対する自己評価

電気使用量に関しても、意識を高め、取り組むことが出来ている。
